

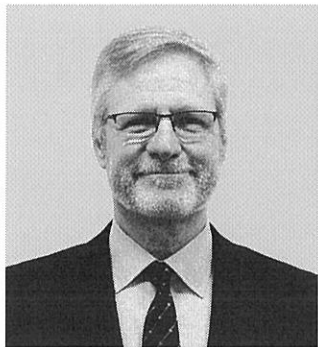


抱負を語る

接着剤やシーリング材などの開発・製造・販売を行う積水フーラー（東京都港区）は、昨今の「環境問題」や

◇ ◇

「物流問題」にも対応可能な製品ラインアップと斬新な提案力に定評が高い。同社代表取締役社長のスコット・



積水フーラー
代表取締役社長

スコット・パーギャンディー氏

「カスしているのは、機能を優れた接着剤とシーリング材です。特に接着剤事業を通じて、お客さまが抱えるさまざまな問題解決に取組みました。社員数の構成で最大の規模となるのが「R」

「Y」を最大に發揮できると考えるためです。R & D部門はH・B・フーラーにもあるため、ベストプラクティスや情報をシェアし合うことで、お客さまを含めた全体最適への貢献が可能です。事実、このような製品の先

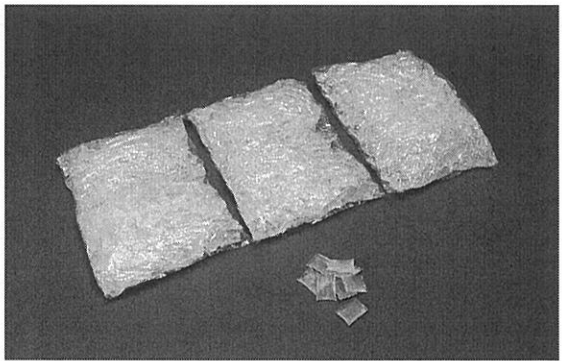
進化したものへと発展する可能性も大いにあります。このように、世界と

研究開発に多くの人員

世界の情報を新製品開発にも活用

成功事例の共有で、各部門「&D（研究開発）部門」と「テクニカルサービス部門」です。この2部門に多くの人員を割くのは、市場の中で重要なポジションを維持する上で、この2部門こそが当社のイノベーションの大きな強みだと思われ、日本における当社製品の成功は、幅広い経営管理とエン지니어リングの経験を持ち、また高いパフォーマンスの成果を上げたから20年まではグローバル製品マネジメントおよびマーケティングと管理を担当した。

（現エクソンモービル）で重要なポジションにも就いていた。約14億ドル（約2170億円）の規模を誇るグローバルエン지니어リング接着剤製品ポートフォリオのリーダーシップと管理を担当した。23年7月から現職。



主力製品のヒートシール接着剤

てリーダーシップを發揮し、約5億5千万ドル（現在のレートで約852億5千万円）規模の事業展開で管理を経験。20年

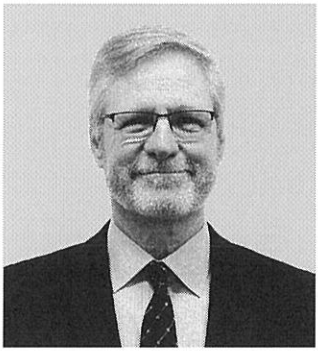


抱負を語る

(3月30号一面のつづき)

当社の事業領域では、「衛生材料」と「包装・紙加工製品」

が大部分の売上を占めており、販売数量と売上金額の両方でポリウムがありま



積水フーラー
代表取締役社長

「住宅・建材」と「機能性材料」があります。

これらの事業領域の中でも「包装・紙加工製品」は、積水フーラーが20年前にスタートする以前から手掛けていたもの

スコット・パーガンディー氏

です。

国内における同領域のビジネスは、H. B. フーラーの強い協力で進行してきたと言っても過言ではありません。包装・紙加工製品分野のグローバルリーダ

高い対応力のホットメルト接着剤

環境意識の製品開発も加速

トメルト接着剤は、加熱すると溶融状態となりますが、その後冷却されることで再び固化状態となり、接着が可能となります。英語 (Hot Melt Adhesive) の

までの時間) が1秒というホットメルト接着剤の最大の特長である速硬化性を生かし、包装機のスピードを最大限に高め、生産性の向上に貢献しています。

一方、合成ゴム系当社では用途に

である同社との協業は、当社が国内ビジネスを進める上で大変に有益であり、また学ぶことも多くありました。

当社にとって主力製品のホットメルト接着剤は、段ボール包装用の場合、セツトタイム(ホットメルト接着剤を塗布して貼り合わせた後に接着する

のホットメルト接着剤は紙やプラスチック、不織布、フィルムなどのさまざまな素材との接着に使用されます。

当社の包装用のホットメルト接着剤は、段ボールケース



包装・紙加工製品

温から高温まで幅広い粘着特性を有するテープやラベル向けの製品を2種類ラインアップしております。

これらのようなきさまさまな製品への取り組みを通じて、市場や

きました。その成果が、3年前に発売した「SFグリーンメルト」シリーズです。同シリーズの包装用の製品については、環境に配慮した低温塗工タイプに設計し、バイオマスマー

の製品については、環境に配慮した低温塗工タイプに設計し、バイオマスマー

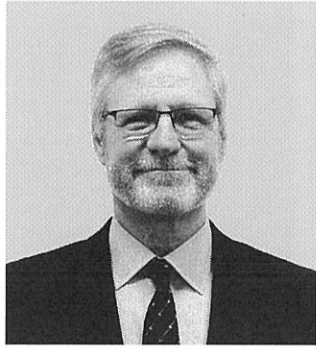
(つづく)



抱負を語る

(3月10日号6面のつづき)

常に努力し優れた製品を提供する姿勢は、親会社の積水化学工業とH. B. フローラーに



積水フローラー
代表取締役社長

スコット・パーガンディー氏

も共通したものであり、それぞれが社会課題の解決に向けた積極的な貢献を目指しています。その社会課題とは、

最近であれば環境問題やドライバ不足が深刻化する物流問題が挙げられます。物流課題については、単にドラ

イバー不足の問題だけ表取締役社長を務めても同様です。言い換えオープンマインドで受

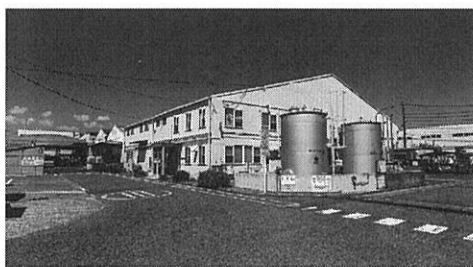
日本の顧客は常に真剣

少しずつでも着実な変革が成功の鍵に

ではなく、物流効率や物流工程で発生するごみ問題などのさまざま課題があります。その課題を当社のホットメルト接着剤の技術で解決

ではなく、物流効率や物流工程で発生するごみ問題などのさまざま課題があります。その課題を当社のホットメルト接着剤の技術で解決

でも確実に変革を積み重ねる、これが結局は成功につながると思います。そのスタンスで当社は、設立から20年間、日本での展開を続



重要な製造拠点の一つとなる浜松工場

様であり、明るい未来を見据えつつ、一足飛びではなくコツコツと積み上げていく努力が重要でしょう。今後も新しい製品や新たなソリューションに向けての研究開発を継続します。それによって、当社の事業